2026年11月10日

各 位

会社名　加賀電子株式会社
代表者名　代表取締役 社長執行役員　門 良一
（コード番号：8154 東証プライム）
問合せ先　取締役 上席執行役員 管理本部長　石原 康広
TEL 03-5657-0111

2027年３月期通期業績予想の修正（上方修正）および配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2026 年９月 25 日に公表しました 2027 年３月期通期連結業績予想を上方修正するとともに、期末配当予想を増配修正することを決議いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

１．業績予想の修正について

2027年３月期 通期連結業績予想数値の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回公表予想（A）（注２）（2026年9月25日公表）	760,000	32,000	32,000	29,000	608.35
今回修正予想（B）（注２）	800,000	36,000	36,000	32,000	671.28
増減額（B －A）	40,000	4,000	4,000	3,000	62.93
増減率	5.3%	12.5%	12.5%	10.3%	10.3%
(ご参考)前期実績（注１）（2026年３月期）	658,941	27,824	29,930	31,099	627.71

（注１）2026年3月期の特別損益には、当社が2025年７月に実施した協栄産業株式会社普通株式に対する公開買付けによる連結子会社化にともない「負ののれん発生益（77億97百万円）」および「段階取得に係る差損益（３億85百万円）」が計上されています。

（注２）2027年３月期の特別損益には、当社が2026年８月に実施した新光商事株式会社普通株式に対する公開買付けによる連結子会社化にともない「負ののれん発生益」および「段階取得に係る差損益」として70億円を見込んでいます。

＜修正の理由＞

当第２四半期連結累計期間における当社グループの業績は、AI 関連を中心とする半導体需要の拡大や価格高騰が続くなか、電子部品事業を中心に、当初の想定を上回る水準で推移いたしました。メモリ半導体およびその他デバイス製品の販売増加と販売価格の上昇に加え、需給逼迫が続く一部半導体製品のスポット販売に注力したことも、業績の伸長に寄与いたしました。

2027 年３月期通期連結業績予想につきましては、堅調な業績動向を踏まえ、本年８月 13 日に売上高および営業利益から親会社株主に帰属する当期純利益に至るすべての利益項目を上方修正いたしました。また、本年９月 25 日には、株式公開買付けにより本年８月 10 日付で当社の連結子会社となった新光商事株式会社の当第２四半期以降の業績見通しを織り込み、当期２回目の上方修正を公表いたしました。今般、当第２四半期連結会計期間の業績が当社計画を上回ったことから、これを通期連結業績予想に反映し、上記のとおり上方修正いたします。

今回の修正により、2024 年 11 月に策定した『中期経営計画 2027(2025~2027 年度)』に掲げる経営目標（売上高 8,000 億円、営業利益 360 億円、ROE12%以上）を、計画最終年度より１年前倒しで達成する見通しとなりました。

2. 配当予想の修正について

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回公表予想 （2026年９月25日公表）		80.00 （普通配当 70.00） （特別配当 10.00）	160.00 （普通配当 140.00） （特別配当 20.00）
今回修正予想		100.00 （普通配当 70.00） （特別配当 30.00）	180.00 （普通配当 140.00） （特別配当 40.00）
当期実績	80.00 （普通配当 70.00） （特別配当 10.00）		
(ご参考)前期実績 （2026年３月期）	60.00 （普通配当 55.00） （特別配当 5.00）	80.00 （普通配当 55.00） （特別配当 25.00）	140.00 （普通配当 110.00） （特別配当 30.00）

＜修正の理由＞

当社は、『中期経営計画 2027』において、財務規律を維持しつつ、計画期間中に創出したキャッシュは成長投資および株主還元に積極的に配分することとしております。このキャッシュアロケーションの考え方に基づき、株主還元の基本方針として、連結配当性向 30%～40%および DOE4.0%を目安に積極的かつ安定的な配当を実施するとともに、利益水準や資本効率性に応じて機動的に自己株式を取得することとしております。

この基本方針に基づき、新光商事株式会社の連結子会社化にともない特別利益として計上を見込む負ののれん発生益等 70 億円（キャッシュ創出をともなわない利益）を除いた実質ベースの親会社株主に帰属する当期純利益の修正予想を踏まえ、期末配当予想につきましては、前回予想の１株当たり 80 円に特別配当 20 円を加え、100 円に修正いたします。

これにより、中間配当と合わせた年間配当金は、前期比 40 円増配の、１株当たり 180 円となります。なお、負ののれん発生益等を除いた実質ベースの連結配当性向は 34.3%、DOE は 5.3%となる見込みです。

【参考：その他の関連指標の修正】

	資本効率性	株主還元		
	ROE	連結配当性向	総還元性向	DOE
前回公表予想 （負のれん発生益等調整後） （2026年９月25日公表）	14.7%	26.3% (33.2%)	–	4.6% (4.7%)
今回修正予想 （負のれん発生益等調整後）	16.3%	26.8% (34.3%)	–	5.2% (5.3%)
(ご参考)前期実績 (注３) （負のれん発生益等調整後） （2026年３月期）	17.8%	22.3% (30.3%)	67.9% (92.2%)	4.5% (4.6%)
『中期経営計画 2027』目標 （2024年11月６日公表）	12.0%以上	30%~40%	–	4.0%

（注３）当社は、2025 年８月８日に総額 144 億 47 百万円で 491 万 7,400 株（自己株式を除く発行済株式総数の 9.4%）の自己株式を取得し、同月 18 日付で全株消却いたしました。

※上記の予想につきましては、当社が発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上